

浴衣ゆかたの次に着るきもの

浴衣を脱いだら来年の夏まで着物にサヨナラ……。

じゃなくて、

夏が終わっても、イヴのおデートや週末のお出かけには着物姿が自然な風景に……。そういうのつてイイな。ゼヒそんな時代が来て欲しいと私は思う。

でも、浴衣と着物つて、何故か別なモノ、そんな感じがあるみたいだ。年中和服暮らしの祖母や母を見てきた私にとつて、わかるようなわからないような。

着る人達が、束縛感なんてナンセンスだと気付いて、気軽に着物を着るようになること、そして売る人達は、浴衣のように愛される街着きものを提供するようになる、これが不可欠と思う。

さて、浴衣できものの魅力に目覚めた後に、きものを着てみたいと思いたった！
その時に、まず「高そう……」と二の足を踏まれるかと思いますが、和装も衣類



9月27日のお写真。これは分類上は単（ひとえ）の綿緋（めんろ）のきものですが、要するにおしゃれ浴衣です。金魚とかのプレタ浴衣と一緒にプラブラ吊されていたやつです。合い着に重宝してます。

大きな花とツタが可愛いエンジ色の羽織は時代布池田で3000円で購入しました。

昔きものは信頼できるお店に通って、勉強させて頂きましょう。現代人の衿（首から手のくるぶしまでの長さ）、丈には合わないことが多いのですが、衿出し、解いて洗い貼り仕立て直しなど、相談にのって頂けます。着物の知識も、メンテの知識もばっちり習得できるかと思われまます。いい時代になりました。娘時代に池田さんを知りたかったです……（涙）。



時代布池田
東京都港区白金台 5-22-11
ソフトタウン白金 101
Tel03-3445-1269

アンティーク調が好きなら、そのものずばりの昔きものをオススメします。下の羽織は地域の催し物のフリマで1000円で購入。



筆者の住んでいる所は田舎のとある町ですが、そのフリマで着物が買えるようになるとは思いませんでした♪



居内商店 大阪市中央区船場中央3丁目船場

センタービル7号館2階 Tel・Fax 06-6251-6611

<http://www.gofukuyasan.com/index.html> HP 運営責任者・居内久勝

この化織のプラタ着物は裕（あわせ）です。5980円。ウレタン草履は1980円です。

着物と聞くと高そうですが、底値ならこのくらいからあるのでございます。もちろん、お財布に余裕のある方は豊富なランクからみつくるって揃えられるとよろしいかと存じます。いい時代になりました。娘時代にイウチさんを知りたかったです……（涙）。



の路線のいち分野なんです。(呉服)と呼ばれる雑誌の世界はまさに別世界ですけど、
(街着きもの)なら、ゼヒ浴衣と同じ気持ちで着て欲しいなと思います。

じゃあ、早速着てみましょう。

パンツでしょ、和装ブラジャーか、いつも使っているソフトブラとスリッパ(衿ぐりが大きく開いているもの)。和装スリッパというのもありますけど、無くても別に困りません。これで次は長襦袢でいいんです。長襦袢じゃなくてもいいんですよ、半衿さえあればいいので、美容衿とかあづま衿とかの商品名で出されている衿でもいい訳です。襦袢は長くなくてもいいのです、二部式の襦袢で、袖だけかわいなのも売ってます。ちらつと見える所だけ綺麗な布な訳です。通称うそつき襦袢と言うそうです。

これで足袋を履けば、後は浴衣の時と一緒にです。

着物や帯などは高いの安い、人によるでしょうが、この時点まで、充分に可愛い新品を求めても二万五千円もあれば感動するくらい可愛い、ホントに今どきの物が手に入ります。もちろん、最終的に絶対省略できないのは半衿だけですから、挿し絵のようなショートカット(簡略法)バージョンでもいい訳。半衿は手作りできるんだから底値0円です。

次は着物ですけど、お財布的には次ページでクリアできたと思いますので、心配なのは今度は着付けかなと思います。が、着付けなんてカンタンです。浴衣が着られれば免許皆伝。

何故なら形はまるつきり一緒だからです。総装着物が多いので難しく見えるだけ



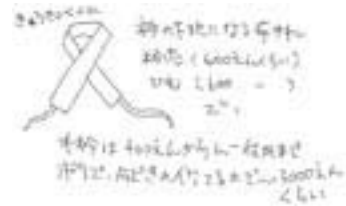
この二部式襦袢の衿にお好みの半衿を付けます。着物を着た時には胴の晒し部分は見えなくて、見た目これなら完璧です。二部式はお洗濯が楽なんです。勝負服の場合は長襦袢が素敵だと思いますが、友人関係などにはこれで充分かなと（笑）。

袖の無いものもあります。そこに自分のお気に入りの反物や布で自作するのも楽しいです。今風イケてる可愛い品や、素材的に上等なものは当然高くなります。自分で触ってみて、着てみて、失敗しながら自分の中の「値札とモノの折り合い」をつけていってください。

オススメ情報を友人同士で交換したり、何か話題になるとお店情報が飛び交ったりなどなど、楽しいものです♪

ないとサマにならないのは「半衿」と「足袋」だけです。これで下駄か草履を用意すれば、あとは着物を着て、帯を締めればできあがりです。

昔から、生活して働いている人は下着の汚れが激しいので、洗うことのできる工夫が随所にありました。たぶん、現代でも本当に着物で働く人はこれに近い格好だと思います。



浴-コートで けもろを巻よ♪



なんじゃないかな。街着きものなんだもん。多少の拙きもご愛嬌つてもんです♪

さて、着物最大の難関、帯結びですが、お太鼓たいこや角つのだしをやる程のらない時は、手早く貝の口にしたたり、リボン結びのたれをもうひと回しする可愛くてカンタンな帯結びを活用してはいかがでしょう。これなら帯結びが苦になりません。ちなみに私はよつぽどおしゃれ指数が上昇した時以外は半幅帯はんぱおびで貝の口です。母も祖母もそうでした。

「浴衣の帯結びと変わりなくていいんですか？」って、初心者の方には意外に思われるかもしれませんが、本来気軽な街着は半幅帯なもんなんです（半幅帯なのに「まあお着物！」ってねえ、今はもうめちゃくちやですけども）。ジーンズで街を闊歩できるのに、何故着物だと装いじゃ恥はづかずかしいんですしょう？

そんな気楽なきものから、雑誌みたいなああいうのまで、装いの幅というものを
知るのが肝なんじゃないかなと、筆者は思うのでございます。

気合を入れたい時の勝負着物、お気楽に着たい時の着物。根性入れて買い揃えるもの。賢くゲットするもの。まさに洋装と同じように無理なく和装とつき合っているように、いろんな事を紹介してゆきたいと思います。

なんたつて書いてる筆者が庶民ですんで、お気軽に読んでくださいまし。